

KOUTOKU コミュニティ・スクール（学校運営協議会）通信①

令和7年6月19日 発行 教務部

6月17日（火）、委員8名、本校生徒11名（3年6名、2年2名、1年3名）、大学生3名、教員6名が参加し、コミュニティ・スクール（CS）の2回目の会議を実施しました。学校グランドデザインに掲げた「楽しい学校」＝「^{がっこう}楽しい学校をつくる」をテーマに、全校生徒に実施した、みんなが考える楽しい学校に関するアンケートの結果を発表し、その中で話題に上がった校則や学校の強み（アピール点）について熟議をしました。



学校運営協議員と大学生



本校生徒も11名参加



生徒会役員がアンケート結果を発表



校長、CS委員長も発表を聞き入ります



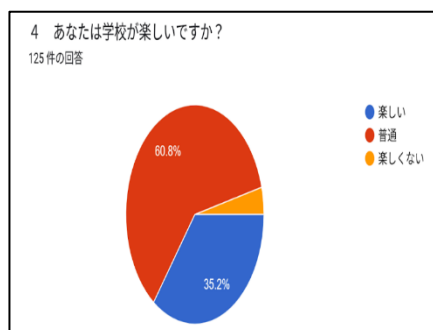
3グループに分かれて熟議。大学生のファシリテートのもと、積極的に意見を交わす生徒とCS委員。

【アンケート結果から】

- ・現時点で本校が楽しいと答えた生徒は 35%、普通が 61%、楽しくないは 4 %

→現状にそれほど不満はない生徒が多数。

- ・生徒が思う「楽しい学校」とは、いじめや差別がなく、みんなが仲良し笑顔で過ごせる場所。自由があり、自分の意見を言えて、友達と協力して行事や部活を楽しめる学校。
- ・生徒は、一人ひとりの行動、思いやり、協力が楽しい学校をつくると考えている。
- ・楽しい学校をつくるためにできることは、まず自分がルールやマナーを守り、笑顔で周りの人に接すること。また、友達や後輩に積極的に話しかけ、困っている人がいれば手助けする。さらに、学校をもっと良くするために、意見を出したり話し合ったりして、行事や環境づくりにも参加する。
- ・校則については「今のままで良い」という人も多くいる一方で、スマホの使用や服装・髪型の自由について見直してほしいという意見が多数あり。校則は生徒の安全や秩序のために必要だが、生徒の声をもとに、もう少し柔軟で現実的なルールにすることも大切だと考える。生徒会や先生との話し合いを通じて、よりよい校則づくりを進めていきたい。



【熟議の内容】

(校則の件)

- ・スマホの件では、使い方が良くない人がいたからいろいろルールができてしまった。そういう人たちにどうやって教えていくか考えていきたい。
- ・スマホとタブレット端末について、教師側と生徒側で認識が違っているように感じる。ルールを守れることも守れないことも必ず自分に返ってくる。
- ・靴に関する件では、ローファーでもスニーカーでも TPO をわきまえて、選択できるようにすれば良い。派手さや多様性の面でいじめにつながる可能性もあるので、ある程度のルールが必要ではないか。
- ・保健室に行く生徒が増えている。水筒では水分が足りないので、自動販売機の設置を検討してほしい。

(本校の強みなど)

- ・1年生の早いうちから就職を意識した学習ができる。
- ・全8コース経験できるのが良い。
- ・社会の仕組みを学ぶことができる。
- ・実習で成長を実感できる。
- ・寄宿舎があり、高校生のうちから自立を目指せる。
- ・光陽祭を2日開催にして、自分たちも楽しむ時間がほしい。

(CS 委員から)

- ・地域の企業を巻き込む取り組みを！
- ・成長を感じることを楽しいと感じるのは素晴らしいこと。

